

2023 年度
事業報告書

施設名：たかし保育園新鎌ヶ谷

2024 年 3 月 31 日
社会福祉法人茂原高師保育園
理事長 篠田 哲寿

1. 管理業務の実施状況

①保育時間

	保育標準時間	保育短時間
平日・土曜	7:00~18:00	8:30~16:30

②特別保育事業

延長保育事業	7:01~7:30 (短時間認定者のみ)	18:01~20:00
--------	----------------------	-------------

③クラス体制および利用状況

めばえ組…0歳児 ふたば組…1歳児 わかば組…2歳児

しげり組…3歳児 いぶき組…4歳児 みのり組…5歳

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	6	12	18	18	18	18	90
4年4月	7	14	20	21	20	24	106
5年3月	8	14	20	21	20	24	107

④職員体制

2023年度職員配属表 (令和6年3月1日現在)

役職・組名							
園長		石崎美代子					
主任		田畑幸康					
副主任		島 晴美					
みのり5歳	24名	一宮汐里	奥津航之輔				
いぶき4歳	20名	山崎はるの	近藤 栞				
しげり3歳	21名	杉阪彩香	中谷 彩	加城恵美			
わかば2歳	20名	佐藤美穂	山口晶子	鶴田亜也	鈴木亜湖		
ふたば1歳	14名	揚野智穂美	大森洋子	宮本祐里			
めばえ0歳	8名	島 晴美	津田亜弥	入澤綾音			
遅番		内田 泉					
フリー		三浦 愛					
産休職員		大久保優奈	山本聖華	小川亜也			
調理室	栄養士	大津奈津子	小泉美紗				
	調理師	山西陽子					
用務		大出千代子					

2. 年間行事実施状況

4月	慣らし保育 内科健診
5月	こどもの日の集い 青空給食
6月	尿検査 泥遊び 水遊び 歯科検診 保育参観 (2.3.4.5 歳児) 異年齢交流 (ピザパーティー)
7月	七夕の会 保育参観 (0.1 歳児) プール清掃 (5 歳児) プール活動
8月	プール活動 プール納会 (3~5 歳) スイカ割り
9月	運動会
10月	園バス遠足 (2.3 歳児) 内科指導
11月	親子遠足 (4.5 歳児) お店屋さんごっこ カレーパーティー 歯科検診 ジャがいも掘り (3~5 歳児)
12月	クリスマス会 もちつき
1月	おせち給食 (5 歳児) 生活発表会 (3.4.5 歳児)
2月	節分の集い マラソン大会 (3.4.5 歳児)
3月	縄跳び大会 (5 歳児) お別れ会 お別れ遠足 (5 歳児) 交通安全教室 卒園式 新入園児説明会
毎月	誕生会 避難訓練 身体測定 食育活動 体操教室 英語教室

3. 職員研修実績 【外部研修】

月	回数	参加者	研修名
6月	1回	島 晴美	東葛支会保育士部会研修
	1回	奥津航之輔・近藤 栞	千葉県主催保育特別講座
8月	1回	石崎美代子	夏季セミナー (こどものとも主催)
8月	1回	奥津航之輔	赤十字支援員養成講座 2日間
9月	1回	石崎美代子	赤十字支援員養成講座 2日間
	1回	石崎美代子	東葛支会保育士部会研修
10月	1回	佐藤美穂	赤十字支援員養成講座 2日間
1月	1回	山口晶子	全国保育士会研修会

【園内会議・研修実績】

会議名	対象者	実施頻度
職員会議	正職員	毎月1回
給食会議	各クラス担任	毎月1回
月案会議	主任・副主任 各クラス担任	毎月1回
乳・幼児会議	各クラス担任	毎月1回
行事会議	正職員	9月（運動会）・1月（発表会）
園内研修	正職員	年7回
法人内研修	正職員	年13回（11回参加）

4. 運営費執行状況（決算書）

別紙「決算書 令和5年度（自）令和5年4月1日（至）令和6年3月31日 参照。

5. 評価及び反省

個別保育も浸透し、子ども達一人ひとりを大切にした保育の実践を行う事ができた1年でした。幼児クラスのランチルームも定着し、子ども達が主体的に活動できるよう働きかけていく大切さを改めて感じた1年でもありました。

昨年から構想を固めてきた子育てサロンの活動も実現する事ができ、年6回ではありましたが、地域の方との交流を行う事ができ、子育ての悩みや息抜きの場として利用していただけたことを嬉しく思っています。引き続き来年度も開催し、地域に根付いた保育園を目指していきたいと思えます。

今年度自然保育認証制度重点型の認定を受けた事で、職員が自然保育の学びに関心をもってくれるようになってきました。本園の立地をいかし、来年度はより自然をいかした保育の実践を行っていきけるよう、職員全員で考え進めていきたいと思えます。

今後の課題としては、職員の確保があげられます。職員の年齢が若いため毎年複数名の職員が産休に入り、職員不足が慢性化しています。今後も保育士の採用により力を入れて取り組み、良い人材を確保し保育の質が継続できるよう努めていきたいと思えます。